

三井ハイテック新中期経営計画（FY2026-FY2028）における 知財・無形資産戦略の変革可能性に関する分析

—— Gemini Deep Research ——

📅 2025年5月13日

エグゼクティブサマリー

- 💡 三井ハイテックの新中計は**EV市場への注力を鮮明**にする戦略的転換
- ✓ 現状の強み：**超精密加工技術、製造ノウハウ、品質評価、グローバル生産ネットワーク**
- ⚠ 課題：**明示的な知財戦略、ブランド構築、データ活用**の側面で発展の余地あり
- 🔄 新中計では**EV関連技術・IP、グローバル展開、ブランド・ポジショニング**に関する変革が必要
- 📈 持続的な**企業価値向上**に向けた知財・無形資産戦略の複数シナリオを提示

新中期経営計画の概要と戦略的転換

📌 基本方針

⚡ **電動車市場**のグローバル成長機会を捉える先行投資

📈 グループ全体の**収益性・資本効率性**の強化

🎯 数値目標（2028年1月期）

3,100億円

売上高

235億円

営業利益（7.6%）

12.0%以上

ROE

7.0%以上

ROIC

📊 投資配分

3年間で総額**約1,100億円**の設備投資



⚡ EV事業戦略

🌐 グローバル市場での**ポジション確立**

💡 **技術リーダーシップ**の確立

⚙️ **EVモーターコア**事業への重点投資

現状の無形資産基盤と課題

強み

-  超精密加工技術・製造ノウハウ
-  品質に対する高い評価
-  グローバルな生産ネットワーク
-  人的資本（技術者の専門性）

課題

-  明示的な知財戦略の策定・発信
-  積極的なブランド構築
-  戦略的なデータ活用
-  IP戦略は防衛的姿勢が強く、
中核製造プロセス保護に重点

今後の方向性

 防衛的姿勢の知財戦略 →  特許ポートフォリオの構築 →  IPランドスケープ導入・体系的な知財戦略への進化

将来の知財・無形資産戦略シナリオ

🚀 EVテクノロジー・ヴァンガード

- 💡 内部イノベーション主導
- 💰 積極的なIP創出投資
- 👑 技術リーダーシップ確立

研究開発・特許強化

📈 グローバル効率化と最適成長

- ⚙️ オペレーショナル効率
- ✂️ 既存技術の最適化
- 💻 デジタル活用

コスト効率・プロセス改善

🤝 エコシステム・インテグレーター

- 👥 外部パートナーシップ
- 📄 M&A戦略の強化
- 🧩 補完技術の獲得

オープンイノベーション

評価軸	テクノロジー・ヴァンガード	効率化と最適成長	エコシステム・インテグレーター
⚠️ リスク	技術開発の高コストと不確実性	成長機会の逸失可能性	外部依存による制御低下
💡 機会	EV市場での技術的差別化	高いROICと安定成長	迅速な技術獲得と市場参入
📊 重点投資	R&D拡充・特許出願	プロセス改善・データ基盤	M&A・提携管理

提言と成功の鍵

1



EV戦略と連動したIP戦略策定

特許ポートフォリオ構築・IPランドスケープ導入

優先度



効果



2



データ活用拡大

製造・サプライチェーン・市場分析のデジタル化

優先度



効果



3



戦略的人材開発

EV・デジタル技術領域の専門人材確保・育成

優先度



効果



4



ブランド価値投資

技術先進性・品質信頼性のポジショニング強化

優先度



効果



5



サプライチェーン強靱化

戦略的パートナーシップ・共同イノベーション推進

優先度



効果



6



無形資産マネジメントの統合

全社横断的な戦略管理体制の構築

優先度



効果



成功の鍵：無形資産価値の可視化と戦略的活用の全社的な推進

まとめ：三井ハイテックの知財・無形資産戦略転換

持続的な企業価値向上に向けた統合的アプローチ



新中計は**EV市場への戦略的転換**を明示し、事業構造の大幅な変革を示唆



知財・無形資産戦略の変革が企業価値向上の鍵であり競争優位の源泉に



防衛型から**積極的な特許ポートフォリオ構築**と技術リーダーシップ確立へ



製造・品質・市場での**データ活用とデジタル化の促進**による意思決定高度化



グローバル生産・販売網と連動した無形資産マネジメント体制の構築



EVシフト成功には**統合的な無形資産戦略**が不可欠な競争力の源泉となる



無形資産価値の最大化が三井ハイテックの成長を加速する